

# すざか

# 12

No.500

おかげさまで  
500号です



昭和45年12月号掲載  
第8回須坂市民文化祭



平成4年3月号掲載  
第15回公民館研究集会



平成14年9月号掲載  
北信濃ふれあいウォーク



昭和54年2月号掲載  
成人式

**創刊号**  
昭和25年8月1日発刊

**がりゅう山**

500号を迎えた。生涯学習、社会教育の広報誌として、心の通い合った明るく住みよい地域として刊行してきた。しかし、その目的が果たせているか不安も感じる▼芭蕉が俳句の作法において、變えてはならない基本を絶えず意識しながら、その時々の新しい考え方を取り入れることが必要であるという「不易流行」を説いている。これは私たちの生活の全般に言えることではないだろうか▼「新生活運動の推進」「資源の無駄使い抑制」「長寿社会に向けた生涯学習の必要性」「地域文化創造の重要性」。コラム「がりゅう山」を初めて掲載した昭和53年の掲載内容である▼「がりゅう山」は身近な時の話題を盛り込みながら公民館としての主張をしてきた。表現方法は変わつても当時の基本的な理念は今でも息づいている。▼あたかも来年は、市制施行50周年の記念すべき節目を迎える。先人の残した貴重な功績を踏まえながら公民館活動の基本に立ち、時代の要請にも応えられる、これから地域づくり人づくりをみんなで考え合っていきたい。

500号を迎えた。生涯学習、社会教育の広報誌として、心の通い合った明るく住みよい地域として刊行してきた。しかし、その目的が果たせているか不安も感じる▼芭蕉が俳句の作法において、變えてはならない基本を絶えず意識しながら、その時々の新しい考え方を取り入れることが必要であるという「不易流行」を説いている。これは私たちの生活の全般に言えることではないだろうか▼「新生活運動の推進」「資源の無駄使い抑制」「長寿社会に向けた生涯学習の必要性」「地域文化創造の重要性」。コラム「がりゅう山」を初めて掲載した昭和53年の掲載内容である▼「がりゅう山」は身近な時の話題を盛り込みながら公民館としての主張をしてきた。表現方法は変わつても当時の基本的な理念は今でも息づいている。▼あたかも来年は、市制施行50周年の記念すべき節目を迎える。先人の残した貴重な功績を踏まえながら公民館活動の基本に立ち、時代の要請にも応えられる、これから地域づくり人づくりをみんなで考え合っていきたい。

# 公民館活動を考えよう

これまでを振り返つて…

昭和25年8月1日に公民館報第1号が発行されてから53年、今月号で500号を達成しました。そこで500号～501号を記念誌とし、シリーズで発行します。

これまでを振り返つて…

**Q 公民館つてどんなところ**

**A** 公民館は、社会教育法という法律に基づいて設置された施設で、各種学習活動を通した人づくり、地域づくりの場と言えます。公民館は地域の人たちの生涯にわたって学ぶ機会を保障しながら、教養、人徳、健康等を増進させる事業を行うことにより、市民の皆さんのがんばりや文化を豊かにし、地域全体が明るく活力にあふれ、市民がお互いに幸せを実感でき、生きる希望や力がわいてくるような地域へと結びつけていく役割をもつた社会教育施設とされています。

**Q 須坂市の公民館はどのくらいの利用があるの**

**A** 利用状況はグラフのとおりで、生涯学習社会を反映し、上昇傾向にあります。(地域公民館を含む) 平成14年度は約15万人が利用されました。



**Q 公民館活動の特徴を教えて**

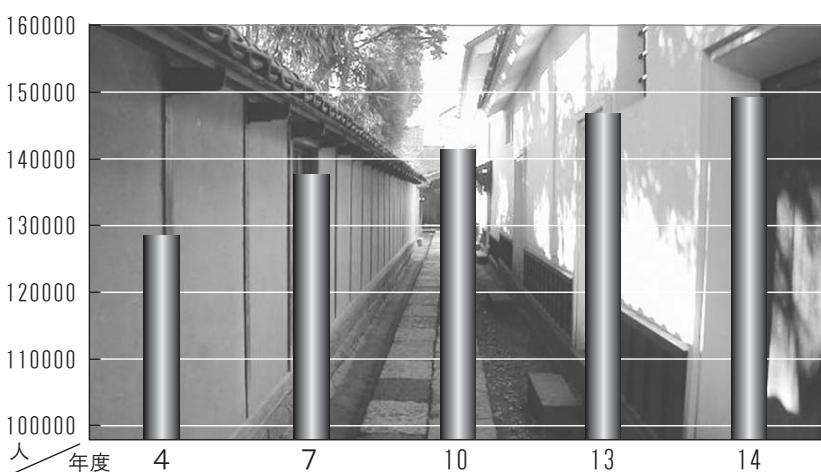
**A** 大きく分けると3つになります。  
① 参加者同士が「ミニユース」を囲りながら学習を進めます。参加者が話し合うことにより、より学習を深めることができます。  
② 参加者一人ひとりのやり方、考え方、個性などが講座に反映され、参加者が講座、学習を作っていくのが公民館です。

カルチャーセンターでも多くの人が学んでいますが、みんなで遊びを作りあげようとする点が公民館と異なります。



公民館ロビーで行われるロビーコンサート

- ③社会教育団体等の支援 施設設備品の貸出、学習相談等
- ※現在、公民館(地域公民館含む)では、約750のサークル・団体等が活動されています。
- ④分館・スロット活動の支援
- ⑤人権同和教育問題の取り組み
- ⑥公民館活動や生涯学習の普及・啓発等



②学習が個人の自己実現だけを目指すのではなく、その学習を通して得たものを地域や地域の人たちに還元し、ひいてはそれが、地域の文化や社会を創り、まちづくりに役立つことが期待できます。例えば自分のまちを知り、自分のまちに興味関心を持ったままの講座内容を組みます。最終的には自分自身がまちのなかで主体的に行動するようになり、このまちを担っていく市民を育む役割を公民館は担っています。

③公民館の講座は、自分で主体的に学ぶようにすることを目的としています。自ら考えて、自らの地域をつくっていく主体性をはぐくむのが大切な目的なのです。

このように、公民館では地域に住む誰もがいつでも気軽に学べるようになります。その場が提供され、学びを通して人びとの暮らしや地域を豊かにしていく目的をもつて講座がつくれています。

## 公民館が行っている具体的な事業

### ①各種講座の開設

子ども対象講座、青年対象講座、女性対象講座、高齢者対象講座、成人対象講座、地域課題講座、指導者養成講座、ボランティア講座、教養講座、国際化講座、趣味づくり講座

### ②地域の皆さんの学習等の支援等

生涯学習相談、図書の貸出等

### ③社会教育団体等の支援

施設設備品の貸出、学習相談等

※現在、公民館(地域公民館含む)

では、約750のサークル・団体等

が活動されています。

④分館・スロット活動の支援

⑤人権同和教育問題の取り組み

⑥公民館活動や生涯学習の普及・啓発等



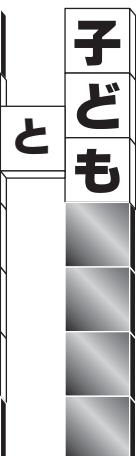
地域の人と一緒に花づくり  
(須坂小学校・常盤町)

都市化や核家族化、少子・高齢化に伴い、家庭や地域社会の子どもを取り巻く環境は大きく変化し、地域から子どもの元気な声や遊び姿が少なくなりました。

このような状況の中で、あいさつができない、友だちができないなど他人とのコミュニケーションが苦手だったり、公共のルールやマナー、倫理観に乏しく、また忍耐力や自制心が欠けやすくキレるなど、さまざまな問題を抱える子どもたちが増えています。

一方、大人社会でも、仕事を優先し、家族とゆっくり話す機会をもて

## 子どもを取り巻く地域の現状



ないなど、模範となる大人が十分その役割を果たしていないとも言われます。また、隣近所以外のことはよく知らないなど、地域での人間関係の希薄化も指摘されています。

子どもたちは地域のさまざまな人たちとのかかわりの中で、知らず知らずのうちに社会のルール、マナーを学び、コミュニケーション能力や相手を思いやる心を育むことができると言われています。

たちとのかかわりの中で、知らず知らずのうちに社会のルール、マナーを学び、コミュニケーション能力や相手を思いやる心を育むことができると言われています。



忍耐力・協調性を養う  
(本校：北信濃ふれあいウォーク)

これまで公民館は主に大人のための社会教育施設として、成人を対象に、地域や生活に根ざした学習、文化活動などに取り組んできました。しかし、子どもたちの現状を勘案する中で、大人だけではなくさまざまな問題を抱える子どもたちを対象にした事業も重点課題として取り上げ『じどりも21すざか未来大学』の名称のもと開設しました。

としては「常盤分校実行委員会」を組織し、須坂小学校の「総合的な学習の時間」に子どもたちの希望を取り入れ、家庭、学校、地域が一緒になり事業を計画、地域の皆さんと講師や参加者として子どもたちと一緒にいたしました。



地域の皆さんと一緒に企画  
(井上分校：ふれあい教室)

具体的には①総合的な学習の時間にかかる支援②完全学校週5日制実施にかかる事業③その他 学校連携・融合にかかる事業について、全市的な事業を「本校」事業として、各地域公民館ごと地域の特色を生かした事業を「地域分校」事業として開催しています。

例えば本校事業として『北信濃ふれあいウォーク』を実施、分校事業として事業を「地域分校」事業として開催しています。

この『じどりも21すざか未来大学』では、そうした子どもや大人を取り巻く諸課題解決のため「体験と発見学習」「生きる力を地域で育てる」「開かれた学校」を主眼において、家庭、学校、地域が一体となり「連携・融合」を図りながら事業を推進しています。

この『じどりも21すざか未来大学』では、そうした子どもや大人を取り巻く諸課題解決のため「体験と発見学習」「生きる力を地域で育てる」「開かれた学校」を主眼において、家庭、学校、地域が連携して企画、運営しています。

どの会場の事業も、子どもたちのいきいきとした姿や笑顔が見られ、次代を担う子どもたちのため、地域の皆さんも楽しみながら参加されています。



地域の伝統・文化を伝える  
(やしょうま作り：春木町)

## これからの課題

完全学校週5日制等に伴い、具体的に地域はどうかかわっていけるのか。これまでの活動を糧にして、いつそう充実した活動が望まれます。家庭、学校、地域が一体となつて子どもも大人も「共に学び、共に育つ」環境を地域ぐるみで整えていくことが大切だと思います。学校や地域の活動にご参加、ご協力をお願ひいたします。

## 仲間づくり くづくりの実践

須坂市民学園

### はじまり

公民館はそれまで成人講座、高齢者講座などを開いていましたが、1回完結型が多く、個人の教養の向上をめざす学習に留まっていました。

生涯学習の重要性が叫ばれる中、「須坂の良さを知り、須坂に生まれ育ったことに誇りを持つ」人づくり、そして楽しい仲間づくりを目標に、学んだことを地域へ還元し、さらに生涯学習発展のためのリーダーや講師を育成する場として、須坂市民学園は平成3年5月に学園生110名(現在104名)でスタートしました。

### 出会い・ふれあい・学びあい

翌年も100名を超える人が参加され、多い時は300名近くの人があ

市民学園に在籍されました。

このように大勢の方が参加された背景には、市民の皆さん生涯学習の気運の高まりが反映したものと思われます。

市民学園は、教養講座で郷土のことや生きる上で大切なことを学び、時には学級でお花見や山菜狩りなど親しい仲間づくりの輪を広げ、同じ趣味を持つ仲間とも親睦を深めてい



楽しみながら学びを深め合います  
(陶芸クラフト活動の様子)

新たな仲間と「出会い」「ふれあい」、「遊びあう」そんな姿が、今も続いている。ます。

### 学びから実践へ

平成8年には、5年以上学んだ人のステップアップの場として新たに専門コースを設けました。

これらの修了者は同窓会として学びは継続され、生涯学習出前講座の講師を務められる方や、またボランティアに関心のある皆さんがグループを作り、施設訪問や子どもたちの学習のお手伝いにとび活躍されています。

### 青年講座の起「」

青年講座の元をたどってみると、昭和32年に公民館で開設した『青年学級』が始まりです。

中学校を卒業し、社会人として働く19歳までの青年が対象で、正しい判断力と決断力を持つ明朗な社会人として成長してほしいと願つて開設されました。

また、昭和40年には20歳以上の青年を対象に『青年教室』も開設しました。当時は週に2日ほど『実生活に役立つ知識』などを学習し、音楽や映画鑑賞、体育・レクリエーション活動など、活発に活動していました。当時の資料には、現在様々な分野で活躍されている方の名前もあり、次代を担う青年を育成する活動の重

かつて、公民館活動は青年団を中心とする、まちづくりに取り組む青年層によって支えられていたと言つても過言ではありません。青年たちに昔の元気を取り戻してほしいと公民館は頑張っています。

### 公民館

人生を語らいあいながらお互い成長していきます  
(キャンプ交流)



高学歴化や地元意識の低下に伴い、青年を取り巻く環境が変化し、青年団体などへ加入される方も少なくなり、残念ながら以前のような活発な活動はみられなくなりました。しかし、公民館を利用していた青年団体・サークルの有志の方々が青年活動を憂慮し平成3年に『須坂青年協議会』を結成しました。そこで、公民館でも協議会と連携して『青年講座』を開設しました。

青年講座は、現在は15名ほどで活動し、内容は参加者と一緒に話し合ひながら決めています。参加者の中には「企画や運営を簡単ではないけれど、参加するだけの講座よりも愛着も湧き充実感もありとても楽しいです」と話してくれました。

これからも次代を担う青年と共に、充実した内容で活動していきます。

## 最も身近な 公民館活動の場

それは  
**行**  
**館**です

須坂市の公民館には「須坂市公民館」「地域公民館」があり、そして身近な活動の場として「分館」があります。

「須坂市公民館」と「地域公民館」は、須坂市公民館条例に基づいて設置され、市の予算で運営され、常勤の職員が置かれています。そして「分館」は、須坂市では各町ごとに設置され、地域住民から拠出された経費と市からの交付金で、地域住民により運営されています。

分館は、各町の住民が自分たち自身の手でつくる、地域住民にとって最も身近な公民館活動の場であり、その役割としては、大きく次の三つが上げられます。

一つ目は、学習・話し合いの場と

しての役割です。地域におけるおもが

な課題がありますが、それらを解決するためには住民同士の話し合いや学習が必要です。そうした町内住民の学習、話し合いの場となるのが分館です。

二つ目は、団体・グループ活動の場としての役割です。町内には、いろいろな団体や自主的グループがあります。町内の様々な問題を解決するには、これらの団体やグループが連携し、話し合うことが大切であり、

町内の親睦や連帯を深め、文化活動やスポーツの盛んな生き生きとした町にするためにも、団体・グループ活動の発展が必要です。分館はこれら団体・グループに援助や適切な助言をしたり、文化祭やスポーツ大会などの機会をつくることも必要です。

そして三つ目は、気楽なたまり場としての役割です。分館は、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に参加する場です。

こうした役割のもと、町区と連携しながら、住民の力で、住みよい町づくり、そして地域づくりを進めていく、公民館活動の一一番の元となつ

ているのが分館活動です。

## 分館活動の紹介

分館活動の深まりを意見交流を通じて実践している、高橋町公民分館の「隣組リレー日誌」を紹介します。

この隣組リレー日誌は、昭和53年に始まり、大学ノートに各隣組の一人が書き込み、別の隣組へ回覧し、1年に1回は町全戸を回っています。年末には、これを印刷し「隣組リレー文集」として製本し、全戸配布しています。

この昭和53年文集の北沢勉分館長の「発刊のこゝり」には、分館について「思いやりの心、民主的な考え方、道徳性等を分館活動の基本として、気楽ないつでも誰でものたまつ場、団体グループ活動の場、学習話し合いの場であり、共通の問題・地域課題の学習等に自由に参加できるようなつどいの場所でなければならぬ」と記載されています。

ノートには様々なことが書かれていました。たとえば…、結婚して東京から初めて信州に来て、鼻も凍る寒さで毎日なきべその日々だったこと。社会教育に一言申すことがあります。最

近のものでは、子どもがテレビゲームをしていて自分の子どもの頃と比べてまったく違う環境になったこと。そして、毎年書かれる区民運動会と家族のことなどなど…。

文集は、昭和58年までは内容を複写してガフ版印刷を作りっていました。その後はノートをコピーした

原稿で編用せられるようになります。した本人の思いがより伝わるやすくなっています。

昨年は25周年記念として原稿を全戸に依頼し発刊されました。今年もこの年末、分館のみなさんの手で発刊される予定です。



平成10年 昭和53年、平成14年の文章と  
回覧されていたノート

12月のお知らせ

**青年ハラコティー講座**  
じゅらじかん  
**白遊時感**

入会随時

5日(金) ペン習字講座  
12日(金) ギフトフラワー作り講座  
1月以降も楽しい講座を企画中!!

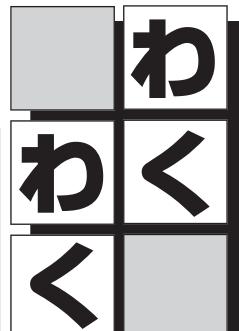
時 間 午後7時30分から  
対 象 18歳～30歳位までの方  
問合せ 市公民館 ↗ 245-1598  
E-mail s-kouminkan@city.suzaka.nagano.jp

**市民学園 公開講座**

演題 惠質商法にあわないために

講 師 長野県長野消費生活センター  
鹿住 千晶先生  
と き 12月20日(土)  
午後1時～2時30分  
と こ ろ 須坂市公民館3階ホール  
問合せ 市公民館 ↗ 245-1598

Waku Waku



公民館

Kominkan

## 12月のロビーコンサート

ハーモニカによる美しい音色をお楽しみください。

と き 12月8日(月) 午後0時20分～  
と こ ろ 須坂市公民館 1階ロビー  
演 奏 ハーモニーかなりや

### 会員募集中

「手軽な楽器、いつでもどこでもハーモニー」を  
キャッチフレーズに、懐かしい歌、思い出の歌を  
楽しみましょう！

活動日 毎月第1月曜日、第3金曜日  
午前9時30分～正午  
と こ ろ 須坂市公民館  
問合せ 児玉 ↗ 245-5914

## 自分だけのコカリナを作って 演奏してみましょう

### コカリナって？

楽器「コカリナ」は、ハンガリー生まれの木ででき  
たオカリナです。8センチ程の小さな楽器ですが、演  
奏も難しくなく、子どもから年配者まで楽しめます。

### コカリナづくり

と き 12月14日(日) 午前9時30分～正午  
と こ ろ 旭ヶ丘ふれあいプラザ  
講 師 畔上 政雄先生(森林インストラクター)  
参加料 1個につき1,500円(材料費)

### コカリナ練習日

と き 12月17日(水) 午後7時～8時30分  
と こ ろ 旭ヶ丘ふれあいプラザ  
講 師 山岸 淳子先生(キラキラパーク会員)  
申込み 旭ヶ丘ふれあいプラザ  
問合せ ↗ 246-3783



平成16年

## 須坂市成人式

新成人の皆さんおめでとうございます。  
公民館では12月初旬に新成人の方、または  
ご家族へご案内状をお送りいたします。  
式典のほか「思い出のビデオ上映」など皆さ  
んの旅立ちを祝うアトラクションを予定して  
います。  
該当者…昭和58年4月2日から昭和59年4月  
1日までに生まれた方で本人又は家  
族が市内に在住されている方

### 式 典

と き 平成16年1月12日(月・祝日)  
午前10時から  
と こ ろ 須坂市文化会館 メセナホール  
受 付 午前9時10分～9時40分まで  
お願い 当日は大変混み合います。時間に余  
裕をもってお出かけください。  
問合せ 市公民館 ↗ 245-1598

## 豊洲わら細工教室

もうすぐ新年！  
手づくりのしめ縄を  
自宅に飾りませんか



と き 12月18日(木) 午前9時から正午  
と こ ろ 豊洲小学校教室  
参加料 500円(材料費)  
申込み 12月12日(金)まで  
問合せ 豊洲地域公民館 ↗ 246-3232

お問い合わせ・お申込み すざか女性未来館 TEL 245-1598

すざか  
女性未来館からの  
お知らせ

From

*(Signature)*

第21回

## すざか女性未来館の つどい



お待ちしています

**とき** 12月7日(日) 午後0時30分から  
**ところ** すざか女性未来館・須坂市公民館  
**内容** ◇ステージ発表…ファッションショー・演奏等

◇作品展示…七宝焼・書道・手まり・和紙絵・編みもの・リフォーム作品等

◇体験会…押し花・編みもの



## 年末年始休館します

須坂市公民館、地域公民館、仁礼コミュニティセンター、旭ヶ丘ふれあいプラザ、農村環境改善センター、すざか女性未来館は年末年始の6日間休館させていただきます。

### 休館期間

平成15年12月29日(月)

↓

平成16年1月3日(土)



資格を  
とりませんか

## 福祉住環境 コーディネーター 講 座

高齢者や障害者に住みよい環境を提案するアドバイザーである福祉住環境コーディネーターの資格取得を応援します。

**内容** 「福祉住環境コーディネーター検定2級」取得に向けた学習、テキストによる講義等

**とき** 1月15日(木)から3月18日(木)までの毎週木曜日10回 午後7時から9時まで

**ところ** すざか女性未来館 大講習室

**対象者** 須坂市内在住及び在勤の方

**定員** 25名

**受講料** 無料 (テキスト代等6,000円は受講者負担)

## 臨床心理士による ワークショップを開催します

なぜ、  
今子育て支援  
なのか？

**とき** 12月8日(月)  
午前9時30分から11時30分

**ところ** 託児ステーション  
(須坂ショッピングセンター内)

**講師** 持田 道子先生

**参加料** 無料

**問合せ** 育児サポートボランティア  
ひまわりの会 TEL 242-3200

• 社会教育団体の掲示板  
• 原稿〆切は10日まで  
**れんらくぼ**

○月△日  
天気  
晴

# 私の生涯学習

9月23日(火)に開催された「第10回生涯学習市民のつどい」で実践発表された皆さんの発表内容をご紹介します。



## 「みどりの愛護」功労者

### 国土交通大臣表彰受賞の花壇づくり活動

南原町老人クラブ前会長 高橋秋雄さん



花壇で作業する会員の皆さん

南原町老人クラブは、平成8年から国道406号線沿いの百々川橋北側の荒地だった約2500平方メートルの土地で花壇づくりに取り組みました。当時、花の世話をした会員は20数名。美しい花を咲かせ、道路を通る人達に安らぎと潤いを与え喜んでもらいたいという思いから、手間と時間を使しまないボランティア精神によって、日々種まきや草取り水くれなどの世話を励みました。今では花づくりのほか道路周辺の清掃や河川敷のごみ拾いなどの活動も行っています。

南原町老人クラブは、平成8年から国道406号線沿いの百々川橋北側の荒地だった約2500平方メートルの土地で花壇づくりに取り組みました。専門家から学び、作業を行っております。現在会員は約100名となりました。現在会員は長老91歳のおばあさんが膝まづいて手際よくチューリップの球根を植える姿を見ますと頭が下がる思いです。今後もみんなで協力し合って、花づくりや地域の美化活動や会員相互の親睦のために活動を続けていきたいと思います。

## 知識や技能を身につけるより多くの人と交流から学ぶ喜び

相森町 小林シヅエさん



香川芳子現学長(後列右から3番目)と小林さん(前列中央)

今年、私は76歳になりました。振り返ってみますと33歳の時「家庭は簡素に、社会は豊富に」の理想のもと、健全な家庭づくりを目指し学習している須坂友の会に入会したのが、私の生涯学習の始まりでした。現在も家庭生活をはじめ環境問題や社会問題などについて学び合っています。

45歳の頃から公民館青年教室の料理実習や働く婦人の家料理教室のお手伝いをするようになり、若い方や働く婦人と楽しく過ごしておりました。そんな時私を救ってくれたのが、新聞に載った女子栄養大学「生涯学習『栄養と料理』」の通信教育の記事でした。

「感じた事は即実行!」と三年程で「栄養と料理」と「和・洋・中華」の専門コースを修了しましたが、何よりも私個人にとって貴重な体験だったのは、二度の2日間のスクーリングで学んだことです。特に忘れられないことは、スクールの最後の講義のまとめをさ

れた日本で最初に「実践栄養学」という学問を起された「香川 綾」学長のおこじばでした。

「私はバランスのとれた朝食と早朝の犬の散歩を続けてきました。気づいたら90歳になっていました。食べ物と私の命は同源です。いいですか！机の上の勉強だけでは駄目ですよ、実践が全てです。読書をしてください。またまた本を読んでください。難しくて分からなくても、分からないうことが分かつただけでも良いんです。」まさに生涯を通して学ばれている方のまぶしいオーラを感じました。香川学長は6年前98歳で他界されました。もう二度と無い貴重な体験でありました。この時の食に関する専門の授業や実習に触れ、あらためて胸が熱くなり感激したのは今でも忘れられません。

それからの私はPTAや婦人会の皆さんとの料理の勉強にも積極的に

始めてから7年目になりますが、今年4月兵庫県淡路島で開催されました第14回全国みどり愛護の集い全体会において「みどりの愛護功労者」として皇太子殿下御夫妻のご臨席のもと、扇国土交通大臣から栄えある表彰状をいただきました。

会員は一日でも花が長く咲くよう

と、健全な家庭づくりを目指し学習している須坂友の会に入会したのが、私の生涯学習の始まりでした。現在も家庭生活をはじめ環境問題や社会問題などについて学び合っています。45歳の頃から公民館青年教室の料理実習や働く婦人の家料理教室のお手伝いをするようになり、若い方や働く婦人と楽しく過ごしておりました。そんな時私を救ってくれたのが、新聞に載った女子栄養大学「生涯学習『栄養と料理』」の通信教育の記事でした。

「私はバランスのとれた朝食と早朝の犬の散歩を続けてきました。気づいたら90歳になっていました。食べ物と私の命は同源です。いいですか！机の上の勉強だけでは駄目ですよ、実践が全てです。読書をしてください。またまた本を読んでください。難しくて分からなくても、分からないうことが分かつただけでも良いんです。」まさに生涯を通して学ばれている方のまぶしいオーラを感じました。香川学長は6年前98歳で他界されました。もう二度と無い貴重な体験でありました。この時の食に関する専門の授業や実習に触れ、あらためて胸が熱くなり感激したのは今でも忘れられません。



生涯学習のマスコット  
『マナビィ』

編集・発行/  
須坂市教育委員会  
生涯学習推進センター

No.46

取り組めるようになりました。数年後には五十肩を患い右手が不自由になりました。幸いにも友人と二人で講師をしていました洋裁教室もありました。が、料理教室の時間が空いたので再び通信教育の「生涯学習ボランティアコース」にチャレンジしてみました。

さて、生涯学習を通して知識と技能はたくさん得ました。それと共にできること、そして生涯を通しての交流ができたこと、幅広い方々との交流ができたこと、大切な友人に出会えたことが、私には「求めよ、さらば与えられん」の言葉をお借りして終わらせていました。

インストラクター二級の資格取得まではそれなりに進みましたが、それからが大変で、頑張つても年齢のせいから左へと出でてしまい、「こんな感じや何の意味も無い」とつい友人に愚痴をこぼしたところ、「頭では忘れたとしても身体には残っているもんだから、ムダなこと事じやないと思うよ」の一言に支えられ再度挑戦して半年かかりましたが、昨年やつと一級をいたぐことができました。

五年ほど前から老人ホーム「やさらぎの園」で二人の友人と手芸のお手伝いをしています。車椅子の皆さんとの交わりの中で色々教えられることが多い、これも私にとって大切な生涯学習のひとつになっておりました。

まではそれなりに進みましたが、それからが大変で、頑張つても年齢のせいから左へと出でてしまい、「こんな感じや何の意味も無い」とつい友人に愚痴をこぼしたところ、「頭では忘れたとしても身体には残っているもんだから、ムダなこと事じやないと思うよ」の一言に支えられ再度挑戦して半年かかりましたが、昨年やつと一級をいたぐことができました。

## 生涯学習推進員の サークル訪問⑫

## ガールスカウトの巻 フラウニー部門(小学生1~3年)



1

### \*ガールスカウトとは\*

さまざまな体験をとおして生きる知恵を身につけ、一人ひとりが個性を大切にし、自ら考え、周りや地域のことから良くしていこう、と主体的に活動を計画し実行しています。

### \*フラウニー部門はどんな活動をしているの\*

毎月の集会、須坂荘への年間ボランティア、団全体の3泊4日のサマーキャンプやそのための事前訓練などしています。今年は全日本花いっぱい須坂大会にも参加しました。12月にはひだまり作業所の方々との交流会を計画しています。頭と体の両方を使って活動できるように、みんなで話し合って計画を立てています。主に土、日曜日が活動日です。



### \*インタビューを終えて\*

「ガールスカウトが好き」「毎週楽しみにしている」と話す、明るく活発で思いやりのある小学校1~3年のフラウニー部門のみなさんでした。家のお手伝いをする「魔法の金貨(100円)活動」を大事な活動としているとのこと。

きちんと仕事をして「魔法の金貨」を手に入れるって大事なことですね！

(生涯学習推進員会 広報部 飯泉・湯本記)

### \*メンバーは\*

フラウニー部門は小学生1~3年生ですが、成長にあった活動をするために他に4~6年、中学生、高校生と4つの部門があり、さらに活動を支える大人のボランティアの成人会員から成り立っています。



### \*大切にしている3ポイント\*

- 自己開発………自分の可能性を発見し、自主的に生きる力を身につける。
- 人とのまじわり………地球規模の視野を持ち、ともに行動できる人になる。
- 自然とともに………自然との調和を学び、豊かな情操を養う。

### \*リーダーさん(大人のボランティア)の一言\*

ディスカッションすることで思考力、活動することで実行力が育ちます。小さいときからの積み重ねによって社会に出て困難に立ち向かった時に自分で解決できる力を身につけ、そして人様の手助けができる女性になってほしいと願っています。

### 団員募集中！

まずは見学してみませんか？ご連絡ください！

連絡先 永田稻子 ☎ 245-2046

4

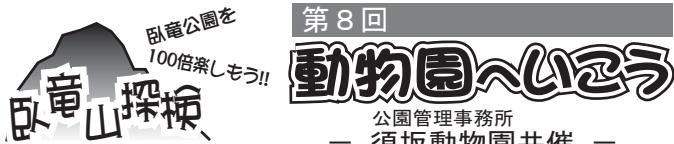
2

3

**須坂市立博物館**

# 博物館だより

開館時間 午前9時から午後5時 ↗& FAX 245-0407  
休館日 1・8・15・22・23・29～1月3日



## 第8回 動物園へいこう

公園管理事務所  
須坂動物園共催

臥竜公園のもう一つの楽しみゾーン動物園の探検です。定員30名 小学生・親子参加大歓迎です。

日 時 12月6日(土) 午後1時～3時  
いつもと時間帯が  
変わっています。  
ご注意を!  
集 合 須坂市立博物館前  
内 容 須坂動物園の動物の観察を通して、その形態や生態・習性など、飼育係の皆さんのがいで不思議発見がいっぱい!  
講 師 動物飼育技術員 小林正和さん他  
長野自然観察の会 清水真弓さん他  
身支度 暖かい支度で 持ち物 筆記具、軍手、手ぬぐい  
申込み・問合せ 須坂市立博物館 ↗ 245-0407

井上・幸高遺跡群 残り期間わずかに  
発掘調査速報展 なりました。  
好評開催中!! お見逃しのないよ  
12月7日(日)まで! うご高覧ください。

紙上博物館

## 須坂藩主の書画④

### 12代藩主 堀直武筆軸



堀直武は11代藩主堀直格の嫡子。弘化2年(1845)父直格の隠居により16歳で家督を相続し、呉服橋御門番・大阪城加番、駿府城加番、日比谷橋御門番などを勤めた藩主です。

直格の代の国許家老は丸山巨宰司で、直武の代はその子丸山舍人辰政が家老となりました。

辰政は藩財政の建て直しに尽力し、陶工吉向父子を招いて吉向焼を興したり朝鮮人参の栽培を試みるなど殖産興業に力を注いだことで知られています。

しかしながら善光寺地震や世情の不安定さから、その取り組みも徒労に終わってしまいました。藩主の気苦労は推し量るに余りあります。書かれた言葉の意味を推し量るとき「守道天知有」の言葉が藩主直武の心境を吐露した一句であることに、ある感動すら覚えます。藩主としての「誠の為政は知る人ぞ知るものがない」との思いは、孤高にして清廉な藩主直武像が浮かびあがります。

# 図書館だより

平成15年度

## 須高読書感想文コンクール 入選者発表

### 高校の部

市立須坂図書館長賞	堰端久美	須坂園芸3年
金 賞	湯本葉子	須坂園芸1年

### 一般の部

小布施町立図書館長賞	安田和雄	長野市(高山村勤務)
金 賞	渡辺順子	旭ヶ丘町

### 行事のご案内

おはなしの会	毎週土曜日 午前11時～ (6日はお休みです。)
あかりの会	10日(水) 午前10時～
一茶の会	13日(土) 午前10時～ 場所:かいこの家(屋部町)
創作童話の会	13日(土) 午後2時～ ※万葉集の勉強会はお休みです。

開館時間 平 日 午前9時～午後6時 ↗ 245-0784  
土・日 午前9時～午後5時 FAX 245-4313  
休館日 1・8・15・22・23・26・29～1月3日



とき 12月6日(土) 午後2時～  
ばしょ 図書館2階 かいぎしつ

